


摂食・嚥下障害看護認定看護師

千厩病院 看護科 主任看護師


 大下 恵 さん


Q 資格取得のきっかけを教えてください

消化器内科病棟勤務時、水分や食事でムセたり発熱したりすると、絶飲食となり胃瘻造設を勧めていた頃がありました。それでも、患者・家族から「食べたい」「食べさせたい」「かわいそう」等の訴えを聴くことができました。その想いをどうにかできないだろうかと思い調べると『嚥下訓練で楽しみ程度でも経口摂取する方法がある』ということを知りました。しかし、3食の食事で統一した関わりを持つにはスタッフの協力が必要であることから、摂食嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しようと思いました。

Q 取得までの流れはどうか

2009年8月 医療局面談 2010年6月 認定看護師教育機関(2カ所)受験、合格 2010年10月～2011年3月 愛知県看護協会認定看護師教育課程「摂食・嚥下障害看護」分野受講、修了 2011年5月 認定看護師本試験受験 2011年7月 合格、活動開始 2016年6月 認定看護師5年更新

Q 研修中の様子を教えてください

覚えることがたくさんあり、レポートやグループワーク等も多く、休む余裕はありませんでした。しかし、32名の掛け替えのない仲間と出会い、学べたことは一生の宝です。励まし合い、笑い合い、助け合いながら半年を乗り越えられました。

Q 資格取得後の院内での活動を教えてください

食事に関わる歯科回診・NST回診のある水曜日、摂食嚥下外来のある木曜日の週2回活動しています。どの分野の認定看護師も「実践」「指導」「相談」の三本柱で活動しています。私の分野は嚥下評価や嚥下訓練、口腔ケア等の直接的・実践的なケア、3食の食事介助を統一して行ってもらうためのスタッフへの指導と、退院された後なるべく同じような食事内容、食事介助方法で関われるように患者・家族・施設職員等への指導、様々な状況下での悩みや困難例に対する相談を行っています。また、嚥下と口腔ケアのコアナースの育成を行い、ケアの質の向上を目指しています。

医療局業務等検討委員会認定看護師部会の摂食嚥下分野では、平成27年度に『摂食嚥下障害看護ガイドライン』を作成し活用してきました。今回、誤嚥・窒息のリスク管理について加筆、改訂しました。是非、ご活用いただきたいと思います。また、介護者向けにはありますが、令和3年2月から『ごっくん便り』という広報を発行しています。こちらもお興味がありましたらご覧ください。

Q これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします

分野を問わず、動機がハッキリして目指したいところ、やりたい援助が見えている場合は、上司等の周囲の協力を得て是非諦めずに目指して欲しいと思います。私自身10年経過した今でも、ブレずに活動していける原動力となっています。

Q 一日のタイムスケジュールを教えてください

8:30	—	9:15	情報収集、病棟のミーティング参加、言語聴覚士と情報交換
9:15	—	12:00	嚥下評価、嚥下訓練、口腔ケア、食事内容・摂食条件の検討 (木曜日は9:00—11:30 摂食嚥下外来)
12:00	—	13:00	食事介助、食事介助指導(スタッフ、患者・家族、施設職員等)
13:00	—	14:00	休憩
13:30	—	15:30	水曜日は歯科回診・NST回診
15:30	—	17:00	嚥下評価、嚥下訓練、口腔ケア、食事内容・摂食条件の検討
17:00	—	17:15	日誌作成

Q 最後に一言お願いします

入院中だけでなく退院後も在宅で安心して食生活が送れるように、病院の枠を超えて活動しています。個々の在宅生活を支えられるような手助けができればいいなと思っています。